

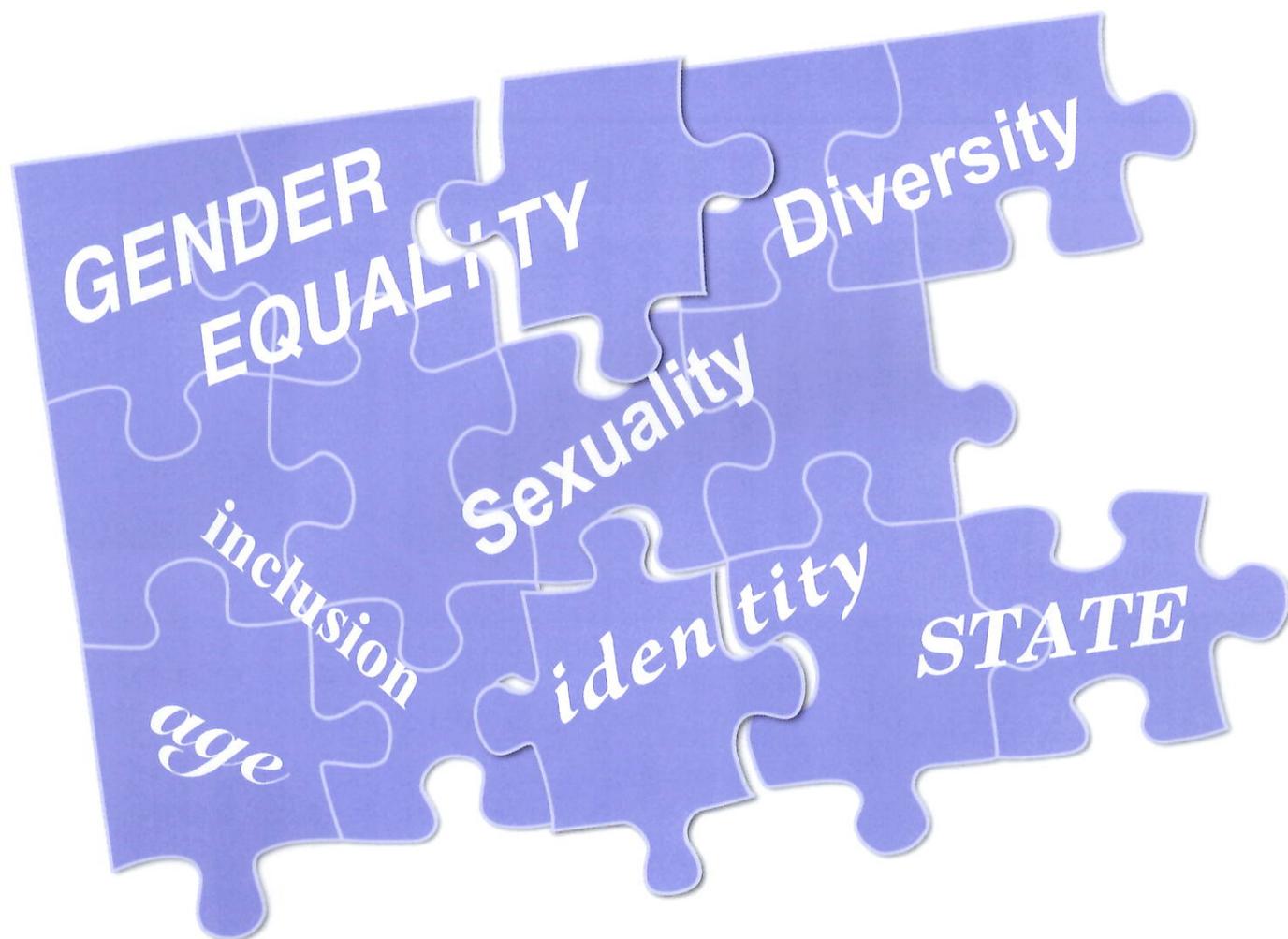
渋谷男女平等・ダイバーシティセンター

アイリス

2017年
(平成29年2月)

vol.71

男女平等と多様性を尊重する社会をめざして



特集

- P2 世界シェルター会議に参加して in ハーグ
- P4 平成28年度 アイリス講座レポート
- P6 しぶやフォーラム2016
- P7 LGBT支援の取組み、リレーコラム「にじのわ通信」

アイリスは性別にとらわれず、誰もが生き生きと暮らせる渋谷をめざし活動する人や団体のための拠点施設です。
団体登録をすることで会議室をご利用いただけます。

世界シエルター会議に参加して in ハーグ
 小川真理子さん
 (独立行政法人日本学術振興会特別研究員 (P D)・大妻女子大学)

2015年11月3日から6日の4日間、オランダのハーグで第3回世界シエルター会議が開催されました。シエルターとは、ドメスティック・バイオレンス(以下、「DV」と略す)の被害を受けた女性やその同伴児を保護する民間の女性たちが設立したNPOやNGOのことになります。日本では、民間シエルターとも呼ばれており、内閣府によると、全国で116カ所(2014年)が運営されています。世界シエルター会議には、約115カ国から1000名を超える参加者があり、主に各国のシエルター関係者、政府・自治体関係者、国連・国際NGO、研究者等が参集し、DVをはじめとする女性に対する暴力について各国の状況を報告し問題を共有しました。

世界シエルター・ネットワークの調査では、46カ国における2497カ所のシエルターにおいて、1日に約5万3千人の女性と約3万5千人の同伴児がシエルターの支援を受けていること、また、外国籍女性や障がいをもつ女性、セクシャル・マイノリティの方々等への支援も行なっていることが報告されました(2015年)。世界シエルター会議は、これまで3度開催されています。2008年にカナダで第1回会議が、2012年にアメリカで第2回会議が、そして2015年に第3回会議が開催されました。いずれもシエルター支援者が発起人となり会議を運営していますが、政府や自治体、企業等が後援をして大規模な会議が実現しています。

会議のプログラムは、全体シンポジウムと分科会で構成されており、最初の基調講演では、オランダのマキシマ女王が国内のシエルターの取組みやDV被害女性の経済的自立に向けての支援の重要性についてお話になりました(写真1)。2回目の基調講演では、デンマークのメアリー妃が、自身の財団を通して暴力被害を受けた女性と子どもの支援を行なっていること、また、暴力を根絶させるべく意思を表明されました(写真2)。国連は、女性に対する暴力は人権侵害であること、世界において

3人に1人の女性が親密な関係にあるパートナーから身体的暴力、精神的暴力や性的暴力等を、人生の中で少なくとも1回は受けていることを報告し、女性に対する暴力の根絶が最も重要な任務のひとつになっていることを強調しました。さらに、喫緊の課題として、女性や女兒に対するインターネット上で行われるサイバー暴力の被害が拡大していることにも警鐘を鳴らしています。一方、世界シエルター・ネットワークは、女性に対する暴力への取組みが行なわれているにもかかわらず、世界において約7千3百人の女性と約4千4百人の同伴児が、シエルターの資源不足や施設の許容範囲を超えてしまう等の理由で、シエルターへの入所が叶わず支援を受けられていない状況を報告し各地域の課題を提示しました。日本を含むアジアに共通の課題として、シエルター退



する女性に対する暴力は、世界共通の問題であり、早急に解決しなければならぬ問題だということを感じました。

所後の自立支援が不十分であること、女性の経済的自立が困難であること、そして、シエルターへの財政的支援や支援者の待遇面の改善等があげられました。

日本では、2001年に配偶者等からの暴力の防止と被害者の保護を図ることを目的としたDV防止法が施行され、その後、3度の改正が行なわれています。DV防止法は、民間女性NGOや女性の国会議員をはじめ多くの女性たちの力が結集して成立した法律だと言われています。私も分科会で日本のDV被害者支援や民間シエルターの支援活動について報告をしました。今回初めて会議に参加して、あらためてDVをはじめと

小川真理子さんは、渋谷区男女平等・多様性社会推進会議においては会長職務代理を務め、「男女平等・多様性社会推進行動計画(行動計画)」策定の際には、専門分野のDV被害者支援等、学識経験者として「尽力をいただきました」。

また、1月31日開催の利用者向け学習会(運営委員会主催)においても、講師として行動計画策定の経過や背景、今後アイリスを利用する一人ひとりが計画推進にどう関わっていくのか等、ご説明いただきました。

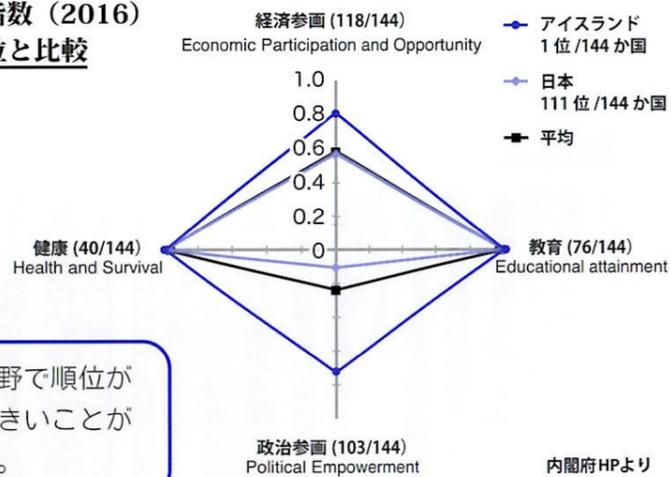
行動計画は渋谷区配偶者等暴力対策基本計画・渋谷区女性活躍推進計画をかねており、課題の達成・解決に向けて数値目標を設定して取り組んでいます。同じく国も、指導的地位に占める女性の割合を2020年までに30%をめざしていましたが、毎年発表されるジェンダー・ギャップ指数は前年よりも下がり、先進国では下位となっています。

世界経済フォーラムが毎年発表するジェンダー・ギャップ指数(男女格差を測る指数)。
日本は、144カ国中111位。どう思われますか?

この指数(GGI)は、経済分野(労働力率、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値、管理職に占める比率、専門職に占める比率)、教育分野(識字率、初等・中等・高等教育の各在学率)、保健分野(新生児の男女比率、健康寿命)、政治分野(国会議員に占める比率、閣僚の比率、最近50年の国家元首の在任年数)の4分野のデータから構成されるものです。

ジェンダー・ギャップ指数(2016)
各分野の日本の順位と比較

- 経済 118位 (106位)
- 教育 76位 (84位)
- 保健 40位 (42位)
- 政治 103位 (104位)



日本は、教育、健康、政治の3つの分野で順位が上昇しましたが、男女の所得格差が大きいことが大幅に順位を落とす結果になりました。

平成28年度
アイリス講座

今年度は「多様性」をテーマに女性と貧困の問題解決や、LGBTの視点からすべての人々が生きやすい社会になることを目指して講座を開催しました。

7/6(水)

なぜ今女性の活躍が必要なのか？

講師 田中和彦さん

(人材コンサルタント)

ポイント

20・30代女性の就業率の高い都道府県は、島根、富山、福井、山形、鳥取の順になります。この5つは、概して合計特殊出生率も高くなっています。

【感想】

☆ダイバーシティを歴史の中で学べた。

☆ダイバーシティを理解するのにとてもわかりやすかった(事例が身近なものだった)。

10/20(木)

リオ五輪でLGBTを取り巻く環境はどう変化したか？

～LGBTとスポーツの現状

講師 村木真紀さん

(NPO法人虹色ダイバーシティ代表)

ポイント

リオ五輪に出場し、性的少数者であることをカミングアウトした選手は53名で、ロンドン五輪の23名から2倍以上増えています。東京五輪では、より一層の理解が深まることを期待します。

【感想】

☆最新のLGBTの情報を入手できてとても意義のあるイベントでした。

☆たくさんの方の当事者、また活動されている方のお話が聴けて有意義でした。

☆オリンピックを契機にして2020年以降にも目をむけた話をしていたいたことに感銘を受けました。

7/28(木)

きっと役立つ公正証書

講師 淵脇みどりさん

(弁護士)

ポイント

公正証書とは、公証人法や民法に従って法律の専門家が作成する公文書。遺言、任意後見契約、金銭の貸貸に関する契約、離婚に従う慰謝料・養育費の支払いに関する公正証書などがあります。

【感想】

☆具体的な手続き方法や要件を聞くことができ大変になりました。

☆二時間では足りない。二時間使ってもっと聞きたい。

11/30(水)

子どもの

居場所について考える

～子どもシエルトの

現場から

講師 石井花梨さん

(社会福祉法人
カリヨン子どもセンター事務局長)

ポイント

平成24年、児童虐待から子どもを守るために「親権制限制度」「未成年後見制度」が改正され、施行されています。改正後は、親権が「子どもの利益を守るため」ということが明確化されています。

【感想】

☆自分があるのままでいられる場所、ありのままの自分を認めてもらえる人がいること、当たり前のように当たり前でない現代の子ども達の姿を知ることができた。

☆心の傷ついた子どもが社会へ出て行く難しさを考えさせられました。一時避難から自立の道は大変ですね。

9/10(土)

災害のこと多様な視点で準備しよう

～LGBTの視点を

素材として

講師 山下梓さん

(若手レインボー・ネットワーク主宰)

ポイント

熊本では「Pray for RAINBOW」プロジェクトが発足。「熊本地震」で被災されたLGBT等セクシュアルマイノリティの方々の要望にもとづいて、直接支援を実行するチャリティ活動が行われています。

【感想】

☆いろいろな人がいてそれぞれのニーズをその人本人に確認する。

☆LGBTをきちんと学んだ防炎の話し合いもメンバーの方から学ぶ事が多かった。

☆グループワークを通して、避難所での問題点が多くが多様化していると実感した。「普段できないことは災害時でもできない」が印象に残った。

12/8(木)

性の商品化と

AV被害の現状

～相談の現場から

講師 金尻カズナさん

(NPO法人人身取引被害者サポートセンターライトハウス相談支援チーム)

ポイント

日本の刑法は百年以上前に作られたもので性被害に関する規定が現代社会の実態に即していません。女性が泣き寝入りしないですむように改正していく必要があります。

【感想】

☆実際のケースを踏まえ、AV被害の現状について勉強になりました。性の商品化の問題には若者支援の問題とも大きく関わっているのだと考えさせられました。

☆業界について何も知らなかったため、出演している人たちが「被害者」と思っていないかった。手口がとても悪質でおどろいた。

10/2(日)

自立とはつながりを増やすこと

～なまめの関係性にも食堂

講師 湯浅誠さん

(社会活動家)

ポイント

絶対的貧困とは、生きるために最低限必要と考えられている食料や生活必需品が購入できない状況。相対的貧困は、所得の中央値の半分を下回っている割合で、その国の所得格差を表し、周りが当たり前にできることができない状態を言います。

【感想】

☆「いるだけでいい」って言葉に自分自身も許された気持ちになりました。

☆つながりがあることで選択肢が増え、それが自立へつながること。子ども食堂は食事だけでなく、様々な人が集まることで子どもたちがいろんな経験をし、選択を増やす役割があることを知りました。

2/25(土) /26(日)

女性・LGBTと学ぶ

自己尊重のアサーティブ・

コミュニケーション

講師 澤部ひとみさん

(特定非営利活動法人
アサーティブジャパン認定講師)

ポイント

「他者」との違いを尊重し合い、より良い関係を築く方法を、女性や性的少数者が直面しそうなケースで学びます。

どうして女性って生きづらいの？
私のもやもや解決したい

講師 治部れんげさん

(ジャーナリスト)

ポイント

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。アメリカで女性労働者が参政権を求めてデモを起こした事がきっかけです。女性の社会参加や差別的撤廃を求め、各地イベントが行なわれます。

レインボー・アイリスは渋谷区 LGBT ダイバーシティ推進のシンボルです

6色のレインボーは世界共通のLGBTへの支持をあらわすプライドのシンボル。当事者／非当事者にかかわらず、レインボーグッズを身につけたり、学校・職場・店舗に飾ることで「LGBTフレンドリー」を表明することができます。



渋谷区の花（ハナショウブ）のマークがレインボーに！職員も、レインボー・アイリスバッジをつけています。

この他にも、性的少数者への理解を深めるために、講座や職員研修を行なっています。

1月24日には、職員研修として、LGBTに関する基礎知識のレクチャーの後、荻上直子監督をお迎えしてトランスジェンダー女性を描いた映画「彼らが本気で編むときは、」を鑑賞しました。

＜渋谷区 LGBT 支援の取組み＞	
○ 渋谷区性的少数者のためのにじいろ電話相談 無料・予約不要 原則第2・4土曜日 午後1時～4時（おひとり30分以内） 直通 03-3464-3401	
○ 渋谷区LGBTコミュニティスペース #渋谷にかける虹 アイリスで月一回開催。月によってテーマや開催日時が変わります。最新情報は、運営を委託している東京レインボープライドHPをご覧ください。 www.tokyorainbowpride.com ソーシャルハッシュタグ #渋谷にかける虹	
○ 同性パートナーシップ証明書 渋谷区では、同性同士のカップルを婚姻に相当するパートナーとして証明書を発行しています。 申請の詳細はアイリスまでお問合せください。	

リレーコラム 「にじのわ通信」 第2回

始まりは自分へのカミングアウト ～“？”と“ドキドキ”を大事に～

女兒として産まれた私は幼い頃、近所の男の子と毎日外で遊んでいました。少し成長すると女の子と居るように促され、遊び方のギャップと楽しさに「？」を感じつつ誰かを真似ることで乗り切りました。

小学校では男女どちらにも上手く馴染めず、何を考えているかわからないとまで言われる始末。虐めに遭い、喧嘩をし、仲良くなり、嘘を吐き、仲違い、裏切り裏切られ。一通りを経験して社会で働く頃には、いつも誰かの期待を演じ続けた為に、すっかり自分が分からなくなりました。

ある日、ただ泥のように横たわる体に死を意識させられました。でも決して死にたい訳ではありませんでした。

蔑ろにしていた「？」と「ドキドキ」を一つずつ確かめていくと、少し体がラクになりました。食事もうるようになるようになり、仲間たちに出逢い、笑って、また働けるようになりました。

今、私は男性として生きています。やんちゃすぎる猫たちと笑いながら日々ぎやかに。



絵描きたちのメッセージ展



しゅやフォーラム2016

今年のしゅやフォーラムは12月11日（日）に「育てよう認めあう力・ちがいをちからに」をテーマに開催されました。

個々の違いを認めあい、それぞれが幸せに生きるためにはまず世の中が平和でなければとの話し合いから、さまざまなプログラムが開催され、午前10時～午後4時まで、多くの方にご参加をいただきました。

詳しくは、実行委員会発行の記録集をご覧ください。



絵本トーク
「幼い子どもの目で見たあの日」
絵本作家 長野 ヒデ子さん

戦争体験、平和への想い、絵本のこと、娘さんと読み聞かせと盛りだくさんのお話にひきこまれます。



喫茶では、
美味しいコーヒー、紅茶、
ケーキも



齊藤利江実行委員長挨拶



区長と語ろう!!
「ちがいをちからに、明日につなぐ」
長谷部 健 渋谷区長

会場からの区民の質問に真摯に答える区長。出来たばかりの基本構想のことやこれからの区政のことなどを直接伺う良い機会となりました。

講演 「自然のままに」女優 渡辺 美佐子さん

渡辺さんのお話に涙する人続出。渋谷区民として、区への期待もお話されました。



パープルリボン運動

毎年11月12日から25日までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です。

アイリスでは例年同様、アイリス運営委員会が中心となり、DV防止等呼びかけ、渋谷の花、花菖蒲（はなしょうぶ）をパープルリボンで飾りました。今年度は文化総合センター大和田の2階に設置したところ、たくさんの方々のご協力があり、すぐにリボンでいっぱいになりました。



文化総合センター大和田2階にて

アイリス相談室

相談名	内容	日程
にじいろ 電話相談	パートナー、家族や友人との関係、職場や学校のことなど、性的少数者に関すること	原則第2、4 土曜（月2回）

相談時間 午後1時～4時（ひとり30分程度）

秘密厳守

相談開催日の時間内に直接お電話してください。

電話：03-3464-3401

どなたでもお気軽に、困ったことがあったらまずはお電話してください。

相談名	内容	日程
法律相談	離婚、人権、相続、土地、財産など	原則第2、4 火曜（月2回）
悩みごと 何でも相談	セクハラ、配偶者からの暴力、人間関係など	原則第2、4 金曜（月2回）

相談時間 午後1時～4時（ひとり45分～50分）

秘密厳守、予約制

予約は各月1日（休館日の場合は翌開館日）から受付

電話：03-3464-3395

アイリス案内図



〒150-0031 渋谷区桜丘町23-21
渋谷区文化総合センター大和田8階

◇開館時間 9:00～21:00（日曜は17:00まで）

◇休館日 月曜日、第3日曜日、祝日の翌日
年末年始（12/29～翌年1/3）

◇ホームページ <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/est/oowada/iris.html>

アイリスでは、平成29-30年度の 団体登録を受付ています。

【団体登録について】

団体登録ができるのは、次のすべての要件を備える団体です。

- ① 男女平等・多様性社会推進を目的とし、学習や活動をする団体であること。
- ② 渋谷区在住、在勤、在学の人を主体とする団体であって、団体の代表者が在住、在勤、在学のいずれかに該当すること。
- ③ 営利を目的にしないこと。

構成員が5名以上で、団体として申請が可能です。団体登録後、会議室、和室、印刷室がご利用いただけます。

また、登録団体の方々はアイリスで行われる利用者交流会や講座、しぶやフォーラムなどに積極的に参加していただき、他の団体との交流を深めることも期待されています。

※現在、平成27-28年度の登録をしている団体も改めて平成29-30年度の登録書類の提出が必要です。お早目にお手続きいただきますよう、お願い申し上げます。